

会 告

平成 17 年度農業土木学会賞候補の推薦について (再々).....	87
平成 16 年度日本農学賞候補の推薦について (再々).....	87
「農業土木学会の名称を考える (仮)」シンポジウムの開催について (第 2 報) 	87
第 20 回水土技術セミナー「農業農村整備業にともなう環境評価手法; 環境評価のノウハウ GIS と植生調査」 	87
第 7 回中央講習会の開催について 地域環境工学シリーズの解説 (第 2 報) 	88
第 10 回中央研究集会開催について バイオマスの利活用推進に向けたチャレンジ (第 1 報) (仮) 	89
第 21 回水土技術セミナー「水利構造物の性能設計」 	89
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について.....	90
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め.....	90
農業土木学会誌への投稿お待ちしております! 小特集以外の投稿も歓迎します。.....	91
あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか 平成 17 年「農業土木学会誌」表紙写真の募集	92
平成 16 年度東北支部総会・第 48 回研究発表会並びに第 38 会支部研修会・第 28 回地方講習会について (第 2 報) 	93
第 55 回関東支部大会講演会の開催について 	94
第 59 回中国四国支部講演会の開催について (第 2 報) 	96
第 33 回中国四国支部研修会・第 28 回地方講習会の開催について (第 2 報) 	97
平成 16 年度 (第 85 回) 九州支部講演会・シンポジウム開催について (第 2 報) 	99
第 27 回九州支部地方講習会・第 35 回支部研修会の開催について 	100
農地保全研究部会第 25 回研究集会 (第 2 報) 	101
「2004 ため池フォーラム in おかやま」開催について 	102
農業土木学会論文集第 232 号内容紹介	103
学会記事	105

農業土木学会 (本部) 行事の平成 16 年度計画

農業土木学会 (本部) 16 年度行事について, 下表のように計画しています。奮ってご参加下さるようお願いいたします。

 のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム, または認定申請中  を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成 16 年 9 月 7 ~ 10 日	平成 16 年度大会 運営委員会	平成 16 年度大会講演会 		札幌市	72 巻 136 号
平成 16 年 9 月 7 日	農業土木学会 名称検討委員会	シンポジウム 	「農業土木学会の名称を考える (仮)」	〃	72 巻 78 号
平成 16 年 9 月 15 日 ~ 17 日	高度技術セミナー 実行委員会	第 20 回水土技術セミナー 	GIS と植生調査	つくば市	72 巻 78 号
平成 16 年 9 月 29 日 ~ 30 日	行事企画委員会	第 7 回中央講習会 	地域環境工学シリーズの解説	東京大学	72 巻 78 号
平成 16 年 10 月 13 日	農業土木学会 農業工学研究所	第 10 回中央研修集会 	バイオマスの利活用推進に向 けたチャレンジ (仮)	東京大学	72 巻 8 号
平成 16 年 10 月 21 日	高度技術セミナー 実行委員会	第 21 回水土技術セミナー 	水利構造物の性能設計	農業土木 会館	72 巻 8 号

農業土木学会関連行事予定

平成16年9月 12日	畑地かんがい研究部会	第43回研究集会		畑作営農と畑地かんがい	広島県文化センター	72巻7号
平成16年9月 8日(予定)	材料施工研究部会	企画セッション		基盤系科目では何を教えねばならないか	北海道札幌市	
平成16年9月 16~17日	関東支部	第55回関東支部講演会			静岡県浜松市	72巻5号
平成16年9月	水文・水環境研究部会	企画セッション		地球規模水循環変動から見た水と食料	北海道札幌市	
平成16年9月	農村道路研究部会	企画セッション		寒冷地における農道整備の現状について	北海道札幌市	
平成16年9月	応用水理研究部会	企画セッション		農業土木分野における応用水理学研究の課題	北海道札幌市	
平成16年9月	農村計画研究部会	企画セッション		畜産酪農資源をめぐる循環型農村地域形成の展望	北海道札幌市	
平成16年9月	農村生態工学研究部会	企画セッション		農村生態工学が果たす役割	北海道札幌市	
平成16年9月	資源循環研究部会	企画セッション		農業土木における資源循環への貢献 バイオマス資源のエネルギー変換	北海道札幌市	
平成16年9月 16~17日	関東支部	第55回支部大会講演会			アクトシティ浜松	72巻8号
平成16年9月	農業水利研究部会	研修会				
平成16年10月	農村生態工学研究部会	地方研究会			兵庫県	
平成16年10月 13~14日	中国四国支部	第59回支部講演会			岡山市	72巻68号
平成16年10月 14~15日	水文・水環境研究部会	第17回シンポジウム		農林地および広域の水文・水環境	茨城大学農学部	72巻5号
平成16年10月 26,27日	中国四国支部	第33回支部研修会・第28回地方講習会			高知市	72巻68号
平成16年10月 27日	北海道支部	第53回研究発表会			帯広市	72巻7号
平成16年10月 28,29日	九州支部	第85回支部講演会・シンポジウム			熊本市	72巻78号
平成16年10~11月	農村道路研究部会	平成16年度研究発表会及び現地見学会				
平成16年11月 4,5日	東北支部	平成16年度総会・研究発表会・支部研修会・地方講習会			仙台国際センター	72巻78号
平成16年11月 9,10日	農地保全研究部会	第25回研究集会		低平地における農地保全と地域資源の活用(仮)	佐賀市	72巻78号
平成16年11月 18,19日	京都支部	第61回研究発表会			大津市	72巻67号
平成16年11月 18~19日	九州支部	第27回地方講習会・第35回支部研修会			沖縄	72巻8号
平成16年11月	土壌物理研究部会	第43回研究集会				
平成16年11月	農村生態工学研究部会	平成16年度研究部会発表会			幕張メッセ	
平成16年11月 24~26日	資源循環研究部会	平成16年度(第2回)研究発表会		農村における水やバイオマス等有機資源の利活用および循環に係る調査・研究	幕張メッセ	72巻6号
平成16年11月 25日	北海道支部	第30回シンポジウム			北海道札幌市	
平成16年12月 中旬	材料施工研究部会	第42回シンポジウム		水利施設のストックマネジメント	茨城県つくば市	72巻9号(予定)
平成16年12月	応用水理研究部会	平成16年度応用水理研究部会講演会		応用水理学分野の研究発表	福岡市	72巻10号(予定)
平成17年1月	農村生態工学研究部会	地方研究会			栃木県	
平成17年1月	関東支部	地方講習会および支部研修会			神奈川県	
平成17年1月 26日	北海道支部	支部講演会			北海道札幌市	
平成17年3月	水土文化研究部会	第2回水土文化研究部会		水土文化の持つ機能と共有認識に向けて	農業工学研究所	

平成 17 年度農業土木学会賞候補の推薦について（再々）

平成 17 年度の農業土木学会賞（上野賞を除く）を、第 72 巻 6 号、p. 64 の募集要項に則って、推薦書によりご推薦下さい。
締切りは、平成 16 年 10 月末日となっております。推薦書様式は学会 HP をご参照下さい。

日本農学賞候補の推薦について（再々）

日本農学賞候補を、本誌第 72 巻第 6 号、p. 65 の推薦取扱規程に則って、ご推薦下さい。締切りは、平成 16 年 9 月末日です。

「農業土木学会の名称を考える（仮）」シンポジウムの開催について（第 2 報） 農業土木学会名称検討委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



平成 16 年度大会講演会第 1 日目、農業土木学会賞受賞者講演に続いて、標記シンポジウムを下記のように開催致しますので、奮ってご参加下さい。

日 時 平成 16 年 9 月 7 日（火） 13:00～14:30
場 所 北海学園大学 豊平キャンパス 60 番教室
会長挨拶

話題 1 これまでの農業土木学会の評価（佐藤洋平）
話題 2 農業農村整備事業の展開方向（仮）（齋藤晴美）
話題 3 農業土木の将来（三野徹）

第 20 回水土技術セミナー「農業農村整備事業にともなう環境評価手法； 環境評価のノウハウ - GIS と植生調査 -」（第 2 報） 高度技術セミナー実行委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



近年、農業農村整備事業の実施にあたり、環境への配慮が不可欠となっております。本セミナーでは、配慮すべき環境として、水質、動植物の生態系、景観等の主要な環境項目をとりあげ、調査から解析・とりまとめの方法まで実習を中心に講習します。

そのうち、本年度は、シリーズの 2 回目として環境アセスメント手法の概要並びに GIS の利活用方法および植生調査の実際についてセミナーを開催します。行政現場や業務で種々の環境問題に接する技術者の皆さんにとって、有益な学習となることと信じています。奮っての参加をお待ちしています。

1. テーマ 「環境評価のノウハウ GIS と植生調査」
2. 開催時期 平成 16 年 9 月 15 日（水）～17 日（金）
3. プログラム

9 月 15 日（水）9:00～17:00

9:00 開会

午前 環境アセスメントの概要，GIS の利用（講義）

午後 GIS の利用（講義および演習）

9 月 16 日（木）9:00～17:00

午前 GIS の利用（演習）

午後 植生調査（講義）

9 月 17 日（金）9:00～16:00

午前 植生調査（実習）

午後 植生調査（実習），修了書授与

GIS の講義および演習では試用版を使うため GIS ライセンスは不要です。

GIS の演習用にノートパソコンをご持参ください（動作環境は以下のホームページをご参照ください）。

http://www.esrij.com/products/arcview8/v8_environment.shtml#04

講師は、農林水産省，ESRI ジャパン（株），（独）農業環境技術研究所，（独）農業工学研究所のそれぞれの専門家です。

天候不良の場合には、植生調査（実習）は室内で行う場合があります。

作業服等の汚れても良い服をご用意ください。

4. 場 所

講義：農林水産技術会議筑波事務所共同利用施設（つくば市）

植生調査の実習：農業環境技術研究所構内

5. 宿 泊

農林水産技術会議筑波事務所 共同利用施設に宿泊可能です。

（他の行事開催等の状況により、2 名 1 室利用の場合）

合があります。)

ご希望で、他のホテルをご用意いたします。

〒105 - 0004 東京都港区新橋 5 - 34 - 4

☎03 - 3436 - 3418 FAX 03 - 3435 - 8494

6. 募集人数 20名

7. 受講費 会員 50,000円(消費税5%含む)

非会員 60,000円(消費税5%含む)

8. 募集締切 平成16年8月20日(金)

9. 申込先 農業土木学会高度技術セミナー実行委員会担当宛

参考 環境評価に関するセミナーは、次のような計画で、順次実施する予定です。

2004年度：植生調査、GIS

2005年度：水生生物、その他陸上生物

第7回中央講習会開催について(第2報)

地域環境工学シリーズの解説

行事企画委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



農業土木学会発行の「地域環境工学シリーズ」(第9巻まで刊行)は、農業土木学が目指すべき方向性を示唆する好著とし各界から高い評価を得ております。

中央講習会では、執筆された先生方を中心に話が聞けるということ最大の特色として、さらに最近の話題も含め解説して戴きます。今年度は、海外農業農村開発協力(第7巻)「地域に根づく「開発とは」: 国際協力の現場から 日本の海外農業農村開発協力」と新しい畑地整備工学(第9巻)「食の安全と地域の豊かさを求めて 新しい畑地整備工学」を取り上げ、2日間の講習会を開催します。多数のご参加をお待ちしております。

1. 期日 平成16年9月29日(水)~30日(木)

2. 場所 東京大学弥生講堂一条ホール

東京都文京区弥生1-1-1(東京大学内)

3. テーマ 地域環境工学シリーズの解説 住民参加型国際協力と環境に配慮した畑整備(仮)

4. プログラム(予定)

第1日目 平成16年9月29日: 地域環境工学シリーズ7

世界の食糧問題と農業農村開発協力 国際協力50周年に向けて

(1) 世界の食糧問題の展望

(2) 国際協力

(3) 住民参加型農業・農村開発

(4) 国際農業農村開発協力の展開と課題

(5) 日本の農業農村開発協力の仕組み

第2日目 平成16年9月30日: 地域環境工学シリーズ9

畑地農業の新たな展開に向けて

(1) 畑地の整備概論

(2) 畑整備の今後の展開方向と今後の課題

(3) 国土情勢、WTOと農業政策

(4) 中山間地における畑地整備

(5) 畑作と環境保全

*プログラムは、変更する場合がございます。

5. 定員 200名程度

6. 参加費 会員 6,000円

学生会員 3,000円

一般(非会員) 8,000円

7. 使用テキスト

テキストは各自でご準備下さい。なお、講習会当日入手ご希望の方はその旨、申込み書に加筆下さい。

8. 申込締切 平成16年9月10日

9. 申込方法 農業土木学会ホームページから「行事申込書」をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、10. 申込先へお申込みください。

10. 申込先 (社)農業土木学会 行事企画委員会担当宛

〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

E mail: mineko@jsidre.or.jp

* 宿泊は各自でご手配下さい。

第 10 回中央研究集会の開催について（第 1 報）
バイオマスの利活用推進に向けたチャレンジ（仮）
 （社）農業土木学会・（独）農業工学研究所

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



平成 16 年度中央研究集会は、農林水産バイオリサイクル研究（施設・システム化チーム）による研究成果シンポジウムとの合同開催になります。多数の参加をお待ちしています。

1. 日 時 平成 16 年 10 月 13 日（水） 10：00～17：00
2. 場 所 東京大学弥生講堂
3. 定 員 300 名程度
4. 参加費 無料（合同開催のため）
5. 内 容（予定）：
基調講演 2 題（東京大学迫田章義教授ほか）

農林水産バイオリサイクル研究におけるバイオマス地域循環利用システム化技術の開発について
 北海道開発土木研究所による資源循環プロジェクトについて
 現地におけるバイオマス多段階利用実証の構想について
 取組み地区からの話題提供
 ディスカッションおよび総括
 農工研が中核機関となり、農林水産省により委託を受けて実施しているプロジェクト研究

第 21 回水土技術セミナー「水利構造物の性能設計」
高度技術セミナー実行委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



世界貿易機関（WTO）加盟国は、技術基準の策定に当たっては国際規格を優先し、性能を基準とすることが規定されています。このため、農業農村整備事業における水利構造物の設計法においても、これまでの仕様規定型から性能照査型に移行します。これに合わせ、本学会誌の 3 月号では「農業水利施設の性能とその照査」と題される小特集が生まれ、また、農林水産省でも土地改良事業に関する設計基準類を性能規定化すべく作業が進められています。

そこで、比較的準備が進んでいるコンクリート構造物の性能設計について専門家に講義していただくセミナーを企画しました。

性能設計への移行は単なる設計基準の改定にとどまらず、性能規定化・国民への説明責任・ライフサイクルコスト・ストックマネジメントなど、技術者として新たな対応を求められています。このため、少しでも早くの対応が必要と考えられることから、ここに本セミナーを企画しました。奮ってのご参加をお待ちしております。

1. 日 時：平成 16 年 10 月 21 日（木）10：00～
22 日（金）16：00（終了）
2. 会 場：農業土木会館 6 F 会議室
東京都港区新橋 5 34 4

3. 定 員：20 名
4. 内 容
性能設計の基本的考え方を理解し、水利構造物に性能設計、特に限界状態設計法、維持管理問題などを、講義や演習を通じて理解する。
5. 講 師 大学、および官庁の専門家
6. プログラム
（1）要求性能と性能設計
（2）限界状態設計法の基礎
（3）限界状態設計法の実際
（4）耐久性設計と維持管理
（5）性能設計における発注機関の課題
7. 受講費 会 員 40,000 円（消費税 5% 含む）
非会員 50,000 円（消費税 5% 含む）
8. 募集締切 平成 16 年 10 月 1 日（金）
9. 申込方法 学会ホームページ <http://www.jsidre.or.jp> 各種行事申込書をご利用下さい。
10. 申込先 農業土木学会高度技術セミナー実行委員会担当宛
〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4
☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2004年6月にはVol 2 No 2が発刊されました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関わる研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。たくさんの方が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑(水配分管理, 水収支, 灌漑施設, 栽培管理)
- ② 排水(排水管理, 排水施設)
- ③ 土壌保全(土壌改良, 土壌物理)
- ④ 水資源保全(水源開発, 水文)
- ⑤ 水田の多面的機能(洪水調節, 地下水涵養など)
- ⑥ 生態系の保全(水生, 陸生動植物の生態系)
- ⑦ 地域計画(農村計画, 土地利用計画など)
- ⑧ バイオ環境システム(水田農業と水環境, 土壌環境, 気象環境)
- ⑨ 水田の多目的利用(田畑転換, 施設園芸)

⑩ 農業政策(農村振興, 条件不利地の支援策など)

水田農業を通じた国際的な研究交流, 情報交換の場として, 皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと, 会員には国際ジャーナルが, 無料で配布されます。

出版社: Springer-Verlag 社(ドイツ)

発刊スケジュール: 2003年3月創刊, 以後3カ月ごと

国際学会会費: 正会員 12,000円/年/4冊(送料等学会負担)

学生会員(院生含む) 8,500円/年/4冊(送料等学会負担)

申込先: 農業土木学会編集出版部 吉武宛

ホームページ: <http://www.jsidre.or.jp>

入会のお申込みは, 学会HP (<http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm>)の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ, メールまたはFAXでお申込みいただけます。

農業土木学会は, 300人の国際学会員を募る義務を負っておりますが, 現在会員数は260名(7月現在)であり, いまだ目標会員数には達していません。そのため, 編集業務を含め年間数百万円の赤字体質となっております。この窮状をお察しいただき, 多くの新規入会のお申込をお願いします。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め

農業土木学会では、2003年1月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; International Society of Paddy and Water Environment Engineering)を設立し、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2004年6月にはVol 2 No 2が発刊されました。

我が国においても学術誌の評価に、SCI(Science Citation Index)のIF(Impact Factor)が利用されており、本国際ジャーナルでもIFの取得により高い評価の定着を目指しています。

また、世界13カ国からEditor(13名)を選出することにより、国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし、さらに国際的な流通を考慮して、国際出版社として著名なSpringer Verlag社からの刊行です。

掲載論文は、Review, Article, Technical ReportおよびShort Communicationの4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに、SCI獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが、投稿料、掲載料などを無料として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

編集方針: 水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術の発展への貢献を目的としている。

その分野は、水田農業地帯における灌漑と排水, 土壌保全, 土地資源や水資源の保全と管理, 水田の多面的機能, 農業政策, 地域計画, バイオ環境システム, 生態系の保全, 水田保全, 田畑輪換等である。

編集体制:

- Editor in Chief: Dr. Yohei Sato (Japan)
- Editors および Editing Board には世界各国から新界の権威が就任しています。
- Managing Editors: Dr. Yoshisuke NAKANO (Japan), Dr. Nobumasa HATCHO (Japan), Dr. Yoshito YUYAMA (Japan), Dr. Ke Sheng CHENG (Taiwan), Dr. Chun Gyeong YOON (Korea)

出版社: Springer Verlag 社(ドイツ)

投稿資格: 筆者全員が国際学会員であること。

投稿先: 農業土木学会気付・中野芳輔宛で受付。

投稿要領等: <http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。

農業土木学会誌編集委員会

73巻の小特集テーマのお知らせと報文原稿の募集

小特集のテーマに沿った原稿を、次表に従って広く会員から募集いたします。小特集以外の自主投稿も歓迎します。

また、今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。特集の趣旨をお読みいただいた後、公募原稿要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

採用された原稿の分量は、**刷上り4ページ**となっておりますので、ご執筆の際には**厳守**いただきますよう、お願いいたします。

学会誌第73巻2号～5号までの小特集のテーマ（予定）

小 特 集 の テ ー マ	要旨締切（必着） （A4判用紙,1,500字以内）	原稿締切 （刷上り4ページ）
2号 ブロック編集担当号の予定です。		
3号 貧困削減・平和構築と海外農業農村開発	平成16年9月6日	平成16年10月12日
4号 圃場～流域レベルの水環境管理	" 9月30日	" 11月10日
5号 技術者資格の国際化対応の現状と課題	" 10月25日	" 12月10日

73巻3号テーマ：貧困削減・平和構築と海外農業農村開発

現在、世界では13億人、世界人口の5人に1人が1日僅か1ドルで生活し、8億5千万人が日々の食べ物にも事欠く毎日を送っているといわれています。貧困は地域紛争やテロの原因の一つであり、ニューヨークでの同時多発テロ以降、世界各地で無差別テロが頻発する中、貧困削減・平和構築は国際社会における緊急課題となっております。

開発援助、特に農業農村開発は、食料の安定供給のほか、紛争後の復興、難民や除隊兵士の定着促進等により、貧困削減や紛争の予防、平和構築へ重要な役割を果たしています。わが国も、カンボジア、東チモール、モザンビーク、アフガニスタン等の国々に対し政府開発援助による技術協力や資金協力を実施してきているところです。

このような状況のもと、学会誌では「貧困削減・平和構築と海外農業農村開発」というテーマに焦点を当て、小特集を企画することにいたしました。海外農業農村開発の最新事情、貧困削減ならびに平和構築のための課題などを紹介いただきたいと思います。農業土木学会に係る研究者および技術者が、貧困削減・平和構築にどのように貢献していくのか、この小特集を通じて議論が深まることを期待しておりますので、奮ってご投稿下さい。

73巻4号テーマ：圃場～流域レベルの水環境管理

わが国の農業は生産性重視型から環境配慮型・環境保全型へと移行する流れにあります。たとえば、滋賀県の環境こだわり農業への直接支払制度はその先端といえるでしょう。水量・水質両面での健全な水環境の構築のためには、これまで農業土木分野が蓄積してきた、もしくは今後の新しい技術・管理方法を環境のために最大限に活用・発展させることが一つの手段と考えられます。我々は、灌漑排水技術を軸にして、圃場レベルの営農管理から流域レベルの水循環管理まで多岐・広範囲にわたる管理システムを有しています。

そこで、農業用水の多面的機能、積極的に環境にシフトした新たな水環境管理のあり方や事例紹介、もしくは、そうした管理の実現のための制度的な側面に関する報文を、圃場レベルから流域レベルまで、広い範囲にわたって募集いたします。奮ってご投稿下さい。

73巻5号テーマ：農業土木技術者資格の国際化対応の現状と課題

わが国の産業社会は大きな転換期にあり、科学技術創造立国を目指して技術革新と国際競争力強化を図ることが、国の最重要課題とされています。これを背景として、わが国の技術者をとりまく環境は大きく変化しつつあります。

具体的には、ISOに代表される国際的な品質保証の流れに呼応して技術者の活躍の場がボーダレス化するとともに、技術者能力の多国間での客観的な評価指標が必要とされています。このため、APEC技術者相互承認プロジェクトへの対応として、技術士法の改定による資格認定と継続教育、大学等の高等教育機関でのJABEE認定を両輪として、技術者資格と教育課程をリンクさせた国際的に通用する資格制度が整備されてきました。

これらの技術者資格改革の胎動期に、本誌でも「農業土木技術者資格と技術者教育プログラムの国際基準」と題して、小特集(68巻5号)を企画し、多くのご意見をいただきました。

前回の特集から数年を経過し、わが国の技術者資格の国際化対応について、多くの成果や将来への課題も得られたと考えられます。

そこで本特集では、技術者資格国際化対応の実践事例の紹介や、新たに生じてきた課題および将来のあり方について、再度特集を組むこととしました。多数のご投稿をお待ちしております。

「オフィス便り」・「キャンパス便り」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」を設けております。

多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするとともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと思います。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

オフィス便りは、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・「技術力の向上」・「技術者倫理」など。

キャンパス便りは、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取り組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿ください。

原稿の長さは、刷り上がり1ページ(1,800字程度)で、写真を1~2枚程度入れてください。

あなたの写真で学会誌の表紙を飾ってみませんか

—平成17年「農業土木学会誌」表紙写真の募集—

農業土木学会誌編集委員会

学会誌編集委員会では、平成17年も皆さまからの写真で表紙を飾ることを企画しました。つきましては、下記の要領で学会誌第73巻(平成17年1~12月号)の表紙写真を募集しますので、ふるってご応募下さい。

なお、単写真だけでなく、組写真による応募も受付けております。組写真では、3~4枚の写真を組み合わせて、ストーリー性を持たせた写真にしてください。

記

1. **趣旨** 近代に至るまで、わが国の農業土木技術者たちはその時々の技術を結集し、稲作、ひいては国土を支えてきました。こうして築かれた「造形」の多くは周辺の風景と一体化しつつ、今もなお、その機能を十分に発揮しています。

学会誌編集委員会では、農業土木の先駆けとなったそうした農業水利遺産を見直すために、「先人たちの造形が織りなす風景」をテーマとし、学会誌の表紙を飾る写真を公募します。皆さんの身近なところやふるさとで、先人たちの想いに心寄せながら、心に残る「一枚」を見つけ、ぜひお送りください。

なお、本来の機能を発揮している灌漑期だけでなく、静かにたたずむ非灌漑期の写真も、お待ちしております。

2. **写真の種類** 単写真、組写真いずれもカラープリントでサイ

ズは六ッ切。組写真の場合は、そのことを明記して下さい。

3. **枚数** 応募点数には制限がありませんが、未発表のものに限ります。

4. **締切** 平成16年9月30日(必着)

5. **審査** 審査委員会(編集委員と写真家)で12点を選びます。

6. **結果発表** 学会誌73巻第1号で入賞者と掲載号を発表し、入選作品は、平成17年度大会会場でパネル展示します。

7. **賞品** 入選作品1点につき3万円(表紙掲載料含む)。応募者には記念品をお贈りします。

8. **応募資格** 学会員でなくとも結構ですので、周囲の方々にもお勧め下さい。

9. **その他** 応募写真の裏面にタイトル、住所、氏名、年齢、職業、性別、写真のテーマ、撮影場所、撮影月日、撮影データ(フィルム、使用カメラ)を記入して下さい。また、対象物の名称(固有名詞)、対象物をめぐる歴史的背景等の説明(いつ、だれが、どうして等)もお寄せ下さい。

原則として、応募写真は返却いたしません。なお、入選作の著作権は、(社)農業土木学会に属します。

10. **宛先** 〒105 0004 東京都港区新橋5-34-4 (社)農業土木学会 農業土木学会誌編集委員会 「表紙写真公募」係

平成 16 年度東北支部総会・第 48 回研究発表会
並びに第 38 回支部研修会・第 28 回地方講習会について (第 2 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 期 日 平成 16 年 11 月 4 日 (木), 5 日 (金)
2. 会 場 仙台国際センター
〒980 0856 宮城県仙台市青葉区青葉山
☎022 265 2211 FAX 022 265 2485
ホームページ <http://www.sira.or.jp/icenter/index.html>

講師：斉藤 泰氏
(農林水産省農村振興局事業計画課環境計画班課長補佐)
15:30~15:40 閉 会

3. プログラム

<第 1 日目> 11 月 4 日 (木)

- (1) 総会並びに研究発表会 会場：仙台国際センター

9:00~9:30 受 付
9:30~10:15 支部総会
10:15~10:45 支部賞受賞式
10:45~11:00 休 憩
11:00~12:00 特別講演
「みやぎ農村文化の継承」
講師：小野和子氏 (みやぎ民話の会代表)

12:00~13:00 昼食・休憩
13:00~17:00 第 48 回研究発表会

- (2) 情報交換会

18:00~20:00 会場：勾当台会館
(地方職員共済組合施設で、宿泊もできます。)
〒980 0803 仙台市青葉区国分町 3 9 6
☎022 222 3301 FAX 022 262 6639
ホームページ http://www.kotodai_kaikan.com/

<第 2 日目> 11 月 5 日 (金)

- (3) 支部研修会・地方講習会 会場「仙台国際センター」

9:00~9:30 受 付
9:30~9:45 開会挨拶
9:45~12:00 第 38 回支部研修会
『地域で育むみやぎの田園』
「田園空間博物館構築への取り組み」
講師：寺島一夫氏 (山元町産業経済課技術補佐)

「農村社会における新たな環境創造への取り組み」
講師：岩淵成紀氏 (田尻高校教諭)
12:00~13:00 昼食・休憩
13:00~15:30 第 28 回地方講習会
「土地改良施設耐震設計の手引き」
講師：進藤惣治氏 (農林水産省農村振興局設計課施工企画調整室課長補佐)
「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き」

4. 講演申込みと参加費振込先

今年度の大会は宮城県で開催されますが、講演発表のプログラム等は岩手大学が担当します。

そこで、研究発表会の講演申込みと参加費納入先がそれぞれ下記のように異なりますので注意して下さい。

A. 参加費

- (1) 総会並びに研究発表会 3,000 円 (学生会員 2,000 円)
(2) 支部研修会並びに地方講習会 7,000 円 (非会員: 8,000 円)
(3) 情報交換会 5,000 円
(4) 昼食 1,000 円 (1 食分)

B. 参加申込方法

- (1) 申込書式 (下記支部開設のホームページよりダウンロードできます)により所属機関ごと一括して、Fax, Eメールまたは郵送にて申込みください。

農業土木学会東北支部総会・研修会参加申込書

所属機関名: _____
所在地 : (〒 _____)
連絡者名 (ふりがな): _____
電話 : _____ FAX : _____
Eメール : _____

所属	氏名	総会・研究発表会			研修会・講習会		合計金額
		参加費 (学生会員)	昼食	情報 交換会	参加費 (非会員)	昼食	
		3,000 (2,000)	1,000	5,000	7,000 (8,000)	1,000	
例 宮城県	宮城太郎	3,000	1,000	5,000	8,000	1,000	18,000
例 盛岡農大	盛岡花子	2,000	1,000				3,000
総合計金額							21,000

- (2) 申込みおよび問合わせ先

〒980 8570 仙台市青葉区本町三丁目 8 1
宮城県産業経済部農村基盤計画課 後藤・原田
☎022 211 2865 FAX 022 211 2890
E mail: harada ta 843@pref.miyagi.jp

(3) 参加費等の振込先

銀行名 七十七銀行 県庁支店
 口座番号 普通 5455430
 加入者名 農業土木学会東北支部大会運営委員会
 原田 孝

* 手数料は振込者負担でお願いします。

(4) 参加費の納入と取消し等

参加費の納入は、申込みと同時に銀行振込で全額納入してください。なお、参加取消し等による参加費の返金には応じかねますので、ご注意ください。

(5) 参加申込み期限

平成 16 年 9 月 30 日 (木)

C. 講演申込方法

(1) 講演申込み/問合わせ先について

講演要旨に投稿票を添えて、下記へお申込みください。なお、発表原稿の送付に当たっては必ず郵送として下さい。

〒020 8550 岩手県盛岡市上田 3 丁目 18 8

岩手大学農学部 和田令子

☎019 621 6112, FAX 019 621 6204

E mail:reikwada@iwate u.ac.jp

(2) 要 領

原稿の書き方・投稿票については、本誌 72 巻 6 号

(pp.70~73)を参照して下さい。また、書式は下記の支部開設のホームページからダウンロードできます。

(3) 発表時間・発表手段

発表時間は 15 分以内 (発表 12 分, 質疑 3 分)

発表補助手段 (OHP, パソコン (Power Point)

...レンタル予定)

(4) 講演申込み受付期間

平成 16 年 8 月 2 日 ~ 8 月 31 日

5. 会場 (仙台国際センター) への案内

JR 仙台駅から西へ約 2 km。

(1) 西口バスプール 9 番乗り場より、仙台市営バス「W8 3 青葉台」, 「W8 2 宮教大」, 「W8 4 成田山」行きに乗車し, 「博物館・国際センター前」下車。所要 10 分, 料金 180 円。

(2) 仙台駅前よりタクシー利用で、所要 7 分 料金 900 円程度。

6. 宿泊について

事務局では宿泊の斡旋・手配はいたしませんので、ご了承ください。宿泊施設、市街地マップについては宮城県観光課ホームページ (<http://www.pref.miyagi.jp/kankou/>), 仙台観光コンベンション協会ホームページ (<http://www.stcb.or.jp/>) に掲載がありますので、参照願います。

東北支部大会の最新情報は下記ホームページでお知らせいたしますので、ご活用ください。

http://news7a1.atm.iwate u.ac.jp/~re_jabee/index.htm

第 55 回関東支部大会講演会の開催について

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



第 55 回農業土木学会関東支部大会講演会を、静岡県浜松市において、来る 9 月 16 日 (木) ~ 9 月 17 日 (金) の 2 日間にわたり、下記の要領で開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

1. 主 催: 社団法人農業土木学会関東支部

後 援: 農林水産省関東農政局, 静岡県

2. 大会および講演会

(1) 日 時 平成 16 年 9 月 16 日 (木)

受 付 9:00 ~ 10:00

支部大会 10:00 ~ 11:00

講演会 11:00 ~ 17:00

(2) 場 所 アクトシティ浜松 コンgressセンター会議室

受 付.....4 階フロア

支部大会.....4 階会議室(43+44 会議室)

講演会

i) 第 1 会場.....4 階会議室(43+44 会議室)

ii) 第 2 会場.....5 階会議室(53+54 会議室)

会場問合わせ先

〒430 7790 浜松市板屋町 111 1

(アクトシティ浜松運営財団) ☎053 451 1112

3. 情報交換会

(1) 日 時 平成 16 年 9 月 16 日 (木) 17:30 ~ 19:30

(2) 会 場 アクトシティ浜松 コンgressセンター 5 階
53・54 会議室

4. 現地研修会

(1) 日 時 平成 16 年 9 月 17 日 (金)

9:20 集合 (JR 浜松駅北口バス乗り場)

9:30 出発

(2) コース

佐鳴湖水質浄化事業

棚田ボランティアによる棚田保全活動 (花博会場)

* 昼食 (花博会場内)

ユニバーサル園芸による都市農村交流の推進 (花博会場内)

浜松駅着 15:30 頃

5. 講演会, 情報交換会, 現地見学会の参加申込方法

(1) 申込み

6 の「農業土木学会関東支部大会参加申込書」に必要事項をご記入し、所属機関ごとに取りまとめのうえ、FAX ま

たは郵送にてお申込みください。

郵送にてお申込みの場合は、コピー（控え）をとってお申込みください。

支部大会および講演会のみご参加の場合でも参加申込みをお願いします。

【領収書等に係る留意事項】

*領収先名称が申込み者と異なる場合、その旨備考欄に記載してください。

*領収書の名称が申込み者と異なる場合、必ず領収書名称欄に記載してください。

*領収書は

講演会参加費

現地研修会参加費

情報交換会参加費

弁当代（講演会当日および現地研修会）

に分けて発行します。

領収書等の記載方法や請求書による支払いをされたい方は、担当にお問合わせいただくか、大会参加申込書の備考欄に記載してください。

(3) 申込期限

平成 16 年 8 月 20 日（金）

(4) 会 費

講演会 6,000 円

情報交換会 5,000 円

現地研修会 5,000 円

(5) 会費の納入方法

参加申込みと同時に下記銀行口座に全額前納してください。なお、申込み後の取消し・変更については、9月2日(木)以前の申出に限り、振込み手数料等実費を差引き返金致します。(9月3日以降のキャンセルについては応じかねますのでご了承の程よろしくお願い致します。)

【留意事項】

*送金手数料は、各自ご負担をお願いします。

【会費の振込先】

みずほ銀行 府中支店（普通） 口座番号 8121350

名義 関東支部大会事務局 代表 加藤 誠

*振込み元が判別できますよう、所属、氏名等をお知らせください。

(6) 申込先および問合わせ先（事務局）

〒420 8601 静岡県静岡市追手町9番6号

静岡県農業水産部農山村計画室内

農業土木学会関東支部大会運営委員会事務局

（担当：湯川，内田，岩崎，佐々木）

☎054 221 2723 FAX 054 221 2449

E Mail:noukei@pref.shizuoka.lg.jp

6. 「講演および講演会、情報交換会、現地研修会」申込様式

講演会，現地研修会参加申込書

送信先 FAX 054 221 2723

静岡県農山村計画室内

農業土木学会関東支部大会運営委員会事務局

（担当：内田，岩崎，佐々木）

*講演会，情報講演会，現地研修会の欄は，出席 ，欠席×（弁当申込する ，しない×）を記入してください。

第 55 回農業土木学会関東支部大会講演会参加申込書

ふりがな 所 属 名		電 話 番 号	
ふりがな 連 絡 員 氏 名		FAX 番 号	
所属所在地	〒		
ふりがな 参加者名	大会講演会 (9月16日) [弁当 申込]	CPD 番号 (農業土木 技術者継続 教育機構)	情報交換会 (9月16日)
			現地研修会 (9月17日) [弁当 申込]
			備考

7. その他

1) 会場への案内

JR 浜松駅北口より東側に徒歩 2 分

（東海道新幹線，東海道本線）

*会場には駐車場がありませんので，周辺の有料駐車場をご利用ください。

8. 宿泊場所

宿泊場所の斡旋はいたしませんので，各自申込願います。

第59回中国四国支部講演会の開催について(第2報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



平成16年度農業土木学会中国四国支部講演会を10月13日(水)、14日(木)の2日間にわたり、開催いたします。本講演会の講演申込みについては下記のとおりです。多数の講演申込みをお待ちしております。

・日程 平成16年10月13日(水)～10月14日(木)

1. 講演会

- (1) 日時:平成16年10月13日(水)
- (2) 会場:岡山衛生会館
〒703 8278 岡山県岡山市古京町1 1 10
☎086 272 3275 FAX 086 272 3256
8:30～ 受付開始
9:00～9:15 開会式
9:15～9:30 支部賞表彰式
9:40～10:45 特別講演
11:00～17:00 一般講演
第1会場 三木記念ホール
第2会場 中ホール
第3会場 第1・2会議室
17:00～17:15 閉会式

2. 情報交換会

- (1) 日時:平成16年10月13日(水)
- (2) 会場:ピュアリティまきび
〒700 0907 岡山県岡山市下石井2 6 41
☎086 232 0511 FAX 086 224 2995

3. 現地研修会

- (1) 日時:平成16年10月14日(木)
- (2) コース:8:30 発岡山駅前近駐車場 8:50～児島湾干拓資料室 9:50～JA岡山なす選果場【現地視察】 11:00～国営かんがい排水事業児島湾周辺地区藤田揚排水機場【現地視察】 12:00～昼食(サンロード吉備路) 13:00～吉備路(備中国分寺周辺) 14:10～高梁川合同堰【現地視察】 15:30 岡山駅前解散
行き先については変更する場合があります。

・講演申込

1. 投稿・講演要領

- (1) 講演原稿
投稿原稿は、図、表、写真などを含め1課題3ページ以内とします。市販のA4版上質紙(コピー用紙などをご利用下さい。感熱紙は不可)に印字したモノクロ原稿で申込んでいただきます。このため、専用の原稿用紙は用意いたしません。

投稿者は、本誌6月号会告pp.70～73の支部講演会投稿要領に従って原稿を作成し、必要なフロッピーディスク等を添えて、支部事務局(下記(8)の山口大学、深田宛)へお申込下さい。なお、発表時間や発表方法などについて事務局から連絡をする場合があります。発表者(印)の方は必ず連絡先メールアドレスをお書きください。

(2) 講演資格

発表者のうち、少なくとも1名が学会員であることが必要です。

(3) 講演方法

個人発表とし、講演補助として液晶プロジェクタ、OHPおよびスライドを準備します。

(4) 講演要旨

1課題につき12分程度です(スライドは10枚程度を上限とします)。

(5) 講演要旨集

申込のあったすべての原稿を講演要旨集に収録します。

(6) 参加申込

講演者は、講演申込とは別途に参加申込(下記、岡山県宛)も行い、必ず参加費を納入して下さい。

(7) 原稿の締切

平成16年8月20日(金)必着をお願いします。(遅延は不可)

(8) 講演申込みおよび問合わせ先

〒753 8515 山口市大字吉田1677 1
山口大学 農学部
農業土木学会中国四国支部事務局 深田 三夫
☎083 933 5830 FAX 083 933 5830
E mail:mfukada@yamaguchi u.ac.jp

2. 研鑽賞選考調査票について

当支部では、支部講演会において積極的に成果を発表した会員(大学・国立研究機関所属の会員を除く)を顕彰するために研鑽賞を設けております。この賞は、同一の口頭発表者が3年以上にわたって通算3回の発表を行った場合に授与されるもので、以前に受賞した人も受賞後の発表が通算3回に達すれば再度授与されます。

選考調査票は、この発表回数をカウントするための資料とします。口頭発表者の今回を除く最新の講演(前受賞者は受賞対象以降のもの)2件の題目とその年度を下記様式によりお知らせ下さい。

支部賞（研鑽賞）選考調査票

口頭発表者氏名：
所 属：
学会加入年度：
会員番号：

No.	年 度	講 演 題 目
1		
2		

参加申込

(1) 申込書：所定の申込様式により所属機関ごとに取りまとめ、講演会事務局までお申込み下さい。

【申込様式】

平成 16 年度農業土木学会中国四国支部講演会参加申込書

所属機関
所在地（〒）
連絡者氏名
TEL： FAX：
Mail：

ふりがな 所 属	ふりがな 氏 名	講演 希望	【13日】 講演会 参加費 (3,000円)	【13日】 昼食代 (1,000円)	【13日】 情 報 交換会 (6,000円)	【14日】 現 地 研修会 (6,000円)	合 計 (円)
~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
計	人	人	人	人	人	人	円

注 1) 出席および必要な場合は 印、欠席および不要の場合は × 印をご記入下さい。  
2) 講演者は、講演希望欄に必ず 印をご記入下さい。  
3) 13日の講演会の昼食は、当日業者から配布します（ただし、予約者のみ）。

- (2) 申込締切日：平成 16 年 8 月 20 日（金）  
(3) 参加費等：講演会 3,000 円  
講演者を含め、講演会に参加される方は必ずお支払い下さい。  
昼食代 1,000 円  
情報交換会 6,000 円  
現地研修会(14日) 6,000 円(昼食代を含む)  
(4) 参加費の納入方法  
参加申込と同時に次の銀行口座に全額前納をお願いします。申込後の取消、変更については 8 月 20 日（金）以前のお申出に限り返金いたします。なお、払込手数料については、振込人負担をお願いします。

【振込口座】

銀行名 中国銀行 県庁支店  
口座番号 普通 1392806  
名義人 農業土木学会中国四国支部講演会事務局  
担当 柏原直樹

- (5) 参加申込みおよび問い合わせ先  
岡山県農林水産部耕地課水利・ほ場整備班 柏原・谷本  
〒700 8570 岡山市内山下 2 丁目 4 番 6 号  
☎086 226 7434 (直通) 086 224 2111 (代表)  
FAX 086 222 9621  
E mail:takuya_tanimoto@pref.okayama.jp  
(6) 宿泊案内  
講演会事務局では宿泊の斡旋・手配はいたしません。

第 33 回中国四国支部研修会・第 28 回地方講習会の開催について（第 2 報）

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



中国四国支部第 33 回支部研修会・第 28 回地方講習会を 10 月 26 日（火）27 日（水）の 2 日間にわたり、開催いたします。本研修会・講習会の開催要領・参加申込みについては下記のとおりです。多数のご参加をお待ちしております。

1. 課 題

- (1) 支部研修会：『農業・農村と環境保全について』  
(2) 地方講習会：『「土地改良事業計画設計基準・計画 農地地すべり防止対策」の解説、「土地改良施設耐震設計の手引き」の解説、「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き」の解説』

2. 日 時

- (1) 支部研修会：平成 16 年 10 月 26 日（火）  
(2) 地方講習会：平成 16 年 10 月 27 日（水）

3. 場 所

高知県立県民文化ホール「グリーンホール」  
〒780 0870 高知県高知市本町 4 丁目 3 30 ☎088 824 5321

4. プログラム

- 10 月 26 日（火）支部研修会：「農業・農村と環境保全について」  
9：30～ 受付開始  
10：30～10：50 開会あいさつ  
農業土木学会中国四国支部長（愛媛大学農学部教授） 櫻井 雄二  
高知県農林水産部副部長 村山 寿夫  
11：00～12：00 「希少動植物の生態と農業土木工事」（仮称）  
農業工学研究所水工部長 端 憲二  
12：00～13：00 [ 昼 食 ]  
13：00～14：00 「流域と河川の水環境について」  
高知大学農学部教授 伴 道一

- 14:00~15:00 「環境保全に配慮した施工事例」  
 (1) 東又東部地区(窪川町)  
 高知県須崎農業振興センター主幹 藤本 勝  
 (2) 中芸東部地区(室戸市, 奈半利町, 北川村)  
 高知県安芸農業振興センター主幹  
 西本 一昭
- 15:00~15:20 [ 休 憩 ]
- 15:20~16:00 「こうち農業 ISO 14001 について」  
 高知県農林水産部環境農業課 環境担当  
 チーフ 濱渦 光彦
- 16:00~16:50 「地域一体となった環境保全型農業の推進」  
 (仮称)  
 中国四国農政局整備部農村整備課集落排水  
 係長 吉松 猛
- 16:50~17:00 閉会あいさつ  
 支部研修会・地方講習会実行委員長  
 (高知県農林水産部耕地課長) 西内 靖
- 10月27日(水) 地方講習会:「土地改良事業計画設計基準・  
 計画 農地地すべり防止対策」の解説  
 「土地改良施設耐震設計の手引き」の解説  
 「環境との調和に配慮した事業実施のための  
 調査計画・設計の手引き」の解説
- 9:30~ 受付開始
- 10:00~10:10 開会あいさつ  
 農業土木学会中国四国支部長(愛媛大学農  
 学部教授) 櫻井 雄二
- 10:10~11:10 土地改良事業計画設計基準・計画「農地地  
 すべり防止対策」の改定の解説  
 農村振興局計画部資源課 課長補佐  
 原川 忠典
- 11:10~12:10 「土地改良施設 耐震設計の手引き」の解説  
 農村振興局整備部設計課 課長補佐  
 進藤 惣治
- 12:10~13:10 [ 昼 食 ]
- 13:10~14:10 「耐震設計の工種別・標準設計」の事例につ  
 いて  
 日本技研(株)技術開発部 立石 卓彦
- 14:10~15:10 環境との調和に配慮した事業実施のための  
 調査計画・設計の手引き(第3編)  
 「ほ場整備 水田・畑」の解説  
 農村振興局計画部事業計画課 斉藤 泰
- 15:10~15:20 閉会あいさつ  
 中国四国農政局高瀬農地保全事業所長  
 村松 治宏

5. 参加費等

(1) 支部研修会

区 分	参加費	昼食代	合 計
会 員	3,000 円	1,000 円	4,000 円
非会員	4,000 円	1,000 円	5,000 円

(2) 地方講習会

区 分	参加費	昼食代	合 計
会 員	4,000 円	1,000 円	5,000 円
非会員	5,000 円	1,000 円	6,000 円

6. 問合わせ先

高知県農林水産部耕地課 豊永・青木  
 〒780 0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番52号  
 ☎088 821 4564 FAX 088 821 4567

7. 参加申込方法

- (1) 申込書 所定の申込様式により所属機関ごとに取りま  
 とめ、お申込み下さい。
- (2) 申込締切日 平成16年9月24日(金)
- (3) 参加費の納入方法 参加申込と同時に次の銀行口座に全額  
 前納をお願いします。  
 なお、振込後の参加費用等の返還には応じられませんので  
 ご注意ください。

【申込様式】

中国四国支部研修会・地方講習会参加申込書

所属機関 _____  
 所在地(〒 _____ ) _____  
 連絡者氏名 _____  
 TEL _____ FAX _____

所属	氏名	会員 区分	【26日】	【26日】	【27日】	【27日】	合計 (円)	農業土木 技術者継続 教育機構 個人会員
			支部研修会 3,000円 (4,000円)	昼食代 1,000円	地方講習会 4,000円 (5,000円)	昼食代 1,000円		
計		会員 非会員	人 人	人 人	人 人	人 人	円	

注) 出席および必要な場合は 印, 欠席および不要な場合は×  
 印をご記入下さい。( ): 非会員

農業土木技術者継続教育機構の個人会員の方は右端の欄に  
 印をご記入下さい。

振込手数料については、振込人負担をお願いします。

【振込口座】 振込先 高知銀行県庁支店  
 口座番号 普通 0017390  
 口座名称 支部研修会 地方講習会  
 実行委員長 西内 靖

(4) 参加申込先 高知県農林水産部耕地課 豊永・青木  
 〒780 0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号  
 ☎088 821 4564 FAX 088 821 4567

- E mail:161101@ken.pref.kochi.lg.jp
- (5) 宿泊案内 宿泊の斡旋・手配はいたしませんので各自でお申込下さい。
- (6) 交通アクセスご案内

- JR 高知駅より 土佐電鉄路面電車はりまや橋乗り換え約 20 分 県庁前下車徒歩 3 分  
または車で約 10 分
- 高知龍馬空港より バス 約 40 分  
会場専用駐車場はありません。

平成 16 年度 (第 85 回) 九州支部講演会・シンポジウム開催について (第 2 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 日 時 : 平成 16 年 10 月 28 日 (木) 9 : 30 ~ 17 : 30
2. 会 場 : メルパルク熊本  
〒860 - 8517 熊本市水道町 14 - 1  
☎096 355 6311
- ・熊本駅より電車 (健軍電停行き) で水道町下車後 20 分, 徒歩 5 分
  - ・熊本空港より車で 45 分 (空港連絡バス「熊本駅行き」バス停「通町筋」下車, 徒歩 10 分)
- (1) 受 付 8 : 30 ~ 9 : 30
- (2) 開会式 9 : 30 ~ 10 : 20 根子岳 (3 F)
- (3) 講演会 10 : 30 ~ 17 : 30
- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 第 1 会場 | 杵島岳 (3 F)                  |
|        | (15 : 30 ~ 17 : 30) シンポジウム |
| 第 2 会場 | 金 峰 (2 F)                  |
| 第 3 会場 | 立 田 (2 F)                  |

3. シンポジウムについて (プログラム)

- 課 題 九州・沖縄における水と土に関する諸問題  
15 : 30 ~ 16 : 00  
「露地・マルチ栽培における地下水への窒素負荷」  
九州大学大学院生物資源環境科学府博士課程 丸居 篤  
16 : 00 ~ 16 : 30  
「畑地灌漑における事業推進に関する研究」  
鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程 門松 經久  
16 : 30 ~ 17 : 00  
「Prediction of physical and mechanical properties of Ariake clay by electronic cone penetration testing」  
鹿児島大学大学院連合農学研究科博士課程  
M. A. Rashwan  
17 : 00 ~ 17 : 30 総合討論  
司会 宮崎大学農学部 近藤 文義

4. ポスターセッション (第 1 会場ロビーにて随時)

近年,九州支部講演会においては,学生会員の講演件数が増加しています。また平成 13 年度からは,シンポジウムを支部講演会と同時に開催し,内容の充実を図っています。

したがって,1 課題当たりの講演時間を確保し,プログラムの編成を容易にするために,本年度から口頭発表に加えて新たにポスター発表を企画致しました。このポスター発表は,研究の

背景や成果および将来への展望などを発表者と参加者が 1 対 1 の差し向かいで討議できるという,口頭発表では実現し難い特徴を備えています。特に,よく準備されたポスターとプレゼンテーションは,参加者に感銘と刺激を与えるなど,実り多い討論をもたらすことが期待されます。

本年度は,原則として学生会員 (学部生・研究生・大学院修士) を対象に募集します。

なお,ポスターセッションは,会場のスペースの関係で発表者の制限を設ける場合がありますので,ご了解下さい。また,発表者の中からポスター賞を若干名授与します。

- (1) 申込締切 8 月 31 日 (火)
- (2) 申 込 先 講演投稿先と同じ
- (3) 枚 数 1 課題 A 3 判 2 枚以内
- (4) そ の 他 ポスターは,講演会の開会式終了までに本人の責任で所定の位置に掲示して下さい。

5. 講演会参加費 5,000 円 (昼食代 1,000 円含む)

6. 情報交換会

- (1) 日 時 平成 16 年 10 月 28 日 (木) 18 : 30 ~
- (2) 会 場 メルパルク熊本 有暇 (2 F)
- (3) 会 費 5,000 円

7. 現地見学会

- (1) 日 時 平成 16 年 10 月 29 日 (金) 9 : 00 ~
- (2) 集合場所 メルパルク熊本 (正面玄関前 8 : 45 集合)
- (3) 会 費 7,000 円 (バス代経費・資料代等 6,000 円, 昼食代 1,000 円)
- (4) 予定コース

出 発 メルパルク熊本 9 : 00 10 : 30 鮎の瀬大橋 (事業説明とトイレ休息) 10 : 45 11 : 15 清和邑文楽館 12 : 15 12 : 20 昼食 (郷土料理館) 13 : 00 14 : 00 熊本空港 14 : 15 14 : 30 歴史的保全施設「鼻ぐり井手」14 : 45 15 : 00 熊本空港 15 : 10 16 : 00 交通センター 16 : 10 16 : 30 熊本駅 16 : 40 17 : 15 熊本県庁 (解散)

注) 14 : 00 熊本空港で乗車される方は,申込書に記入して下さい。

熊本駅方面 (バスターミナル経由) は随時, 空港連絡バスに乗車ができます。(約 1 時間)

## 8. 講演申込先

- (1) 投稿締切 平成 16 年 8 月 31 日 (火)  
 (2) 投稿先 〒840 8502 佐賀市本庄町 1 番地  
 佐賀大学農学部 瀬口昌洋 宛  
 ☎0952 28 8760 (直通) FAX 0952 28 8709  
 E mail:seguchim@cc.saga.u.ac.jp  
 (3) 原稿の書き方 平成 16 年 6 月号(72 巻 6 号)の会告(支部講演会の投稿票について, pp .70~73)に従って下さい。

## 9. 参加申込方法

所属機関ごとに取りまとめのうえ, 申込書(学会ホームページからダウンロードして下さい)によりお申込み下さい。

- (1) 問合わせ先  
 〒862 - 8570 熊本市水前寺 6 - 18 - 1  
 熊本県農政部農地建設課検査・技術管理係内  
 農業土木学会九州支部講演会事務局  
 事務局長: 林 卓哉

担 当: 舛田博幸, 岩村豊作, 村川雅巳  
 ☎096 383 1111 (内線 5462, 5460) FAX 096 382 8623

- (2) 申込先  
 JTB コンベンションサポートセンター  
 〒810 0072 福岡県福岡市中央区長浜 1 1 35  
 新 KBC ビル 6F  
 ☎092 751 2102 FAX 092 751 4098

(3) 申込期限 8 月 31 日 (火) まで (FAX 可)

## (4) 参加費の納入先

宿泊の斡旋を希望される方には, 別途宿泊に関する資料等を送付させていただきますので, 必ず申込み責任者の連絡先をご意見欄に記入して下さい。

## 【振込み口座】

銀行名 三井住友銀行 九州支店  
 口座番号 (普) 1095039  
 口座名 (株) ジェイティービー

## 第 27 回九州支部地方講習会・第 35 回支部研修会の開催について

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



## 1. 演 題

未 定

- 1) 地方講習会: 「農地地すべり防止対策」と耐震設計について  
 2) 支部研修会: ちゅら島を守る農業と農業土木

15:00~15:20 休 憩  
 15:20~16:20 「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き(ほ場整備水田・畑)」の解説 未 定

## 2. 日 時

- 1) 地方講習会: 平成 16 年 11 月 18 日 (木) 9:30~16:30  
 2) 支部研修会: 平成 16 年 11 月 19 日 (金) 9:30~12:00

16:20~16:30 閉会あいさつ  
 九州支部委員(沖縄県村づくり計画課長)

## 3. 場 所

沖縄ハーバービューホテル(彩海の間)  
 沖縄県那覇市泉崎 2 46 (☎098 853 2118)

大演 逸也  
 11 月 19 日 (金) 支部研修会

## 4. プログラム

11 月 18 日 (木) 地方講習会  
 9:30~ 受 付  
 10:00~10:10 開会あいさつ  
 九州支部長(佐賀大学農学部教授) 加藤 治  
 10:10~10:20 歓迎あいさつ  
 沖縄県農林水産部長 諸見 武三  
 10:20~12:00 「地すべり防止技術における土質」  
 琉球大学農学部教授 宜保 清一  
 12:00~13:00 昼 食  
 13:00~14:00 土地改良事業計画設計基準・計画「農地地すべり防止対策」の改定  
 未 定  
 14:00~15:00 「土地改良施設 耐震設計の手引き」の解説

9:00~ 受 付  
 10:00~10:10 開会あいさつ  
 九州支部長(佐賀大学農学部教授) 加藤 治  
 10:10~11:10 宮古の地下水を守る(仮題)  
 東京農業大学国際食料情報学部助教授 中西 康博  
 11:10~12:10 返還軍用地と土地改良事業(仮題)  
 読谷村長浜川土地改良区理事長 仲宗根盛敏  
 12:10~12:20 閉会あいさつ  
 沖縄県農村整備課長 与那原邦夫

## 5. 参加費用

講習会 会員 5,000 円, 非会員 6,000 円  
 研修会 会員 2,000 円, 非会員 3,000 円  
 昼食代(1,000 円)

6. 申込方法

別添参加申込書により、平成 16 年 10 月 8 日（金）までに所属機関で取りまとめ、参加費を振込みのうえ、申込書を送付（FAX 可）してください。

なお、参加費の払戻しについては応じられませんので、あらかじめご了承ください。

1) 申込先

〒900 8570 沖縄県那覇市泉崎 1 2 2

（FAX 098 866 0057）

沖縄県農林水産部村づくり計画課内

農業土木学会九州支部 平成 16 年度講習会担当事務局

事務局長 小 山 榮 一

2) 問合わせ先

沖縄県農林水産部村づくり計画課（増村・前富里）

（☎098 866 2263 FAX 098 866 0057）

3) 振込先

銀行口座 沖縄銀行県庁支店（店番号 012）

口座番号（普通）1259540

口座名義 農業土木学会九州支部担当事務局 まえ ふ さとよしのぶ 前富里善信

4) 申込様式

農業土木学会九州支部第 27 回地方講習会・  
第 35 回支部研修会 参加申込書

年 月 日

所属機関名 _____

所在地 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____

連絡員氏名 _____

参加者

ふりがな 氏名	会員			非会員		
	講習会 (5,000 円)	研修会 (2,000 円)	弁当代 (1,000 円)	講習会 (6,000 円)	研修会 (3,000 円)	弁当代 (1,000 円)
員数計						
金額合計						

7. 宿泊場所

宿泊の斡旋はいたしませんので、各自でお申込みください。

農地保全研究部会第 25 回研究集会の開催について（第 2 報）  
低平地における農地保全と地域資源の活用

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 開催日

(1) 研究集会 平成 16 年 11 月 9 日（火）

(2) 現地見学会 平成 16 年 11 月 10 日（水）

18:00~20:00 情報交換会

(2) 現地見学会 平成 16 年 11 月 10 日（水）8:30~15:00

白石平野の地盤対策現場、海岸保全事業七浦地区フラッシュ対策現場、佐賀城本丸歴史館

2. 場所

(1) 研究集会 〒840 0815 佐賀市天神 2 1 36

はがくれ荘

☎0952 25 2212（JR 佐賀駅より徒歩 7 分）

(2) 現地見学会 白石町、鹿島市、佐賀城本丸歴史館

4. 参加費用等

(1) 研究集会 資料代 4,000 円

昼食代 1,000 円（希望者）

(2) 情報交換会 5,000 円

(3) 現地見学会 5,000 円（バス代 3,800 円 + 昼食 1,200 円）

3. プログラム

(1) 研究集会 平成 16 年 11 月 9 日（火）9:00~17:00

9:00~9:30 受付

9:30~9:40 開会式

9:40~10:40 特別講演「佐賀城の変遷と水計画」

11:00~12:00 基調講演「佐賀平野の生成過程と有明粘土の土質特性」

12:00~13:00 昼食

13:00~13:50 講演 1 白石平野における地盤沈下対策

14:00~14:50 講演 2 低平地の排水対策 海岸保全事業七浦地区フラッシュ対策

15:00~15:50 講演 3 低平地の地域資源を活かした地域活性化

15:50~16:10 休憩

16:10~17:00 総合討論

5. 参加申込み・お問合せ

(1) 申込方法：研究集会、情報交換会、現地見学会の申込みは各所属機関ごとに取りまとめの上、「研究集会参加申込書」様式（学会ホームページからダウンロードして下さい）にて郵送または FAX でお願います（お電話での申込みはご遠慮下さい）。

お申込みの確認ができましたら、東急観光から確認の連絡を致します。

(2) 申込先

〒840 0831 佐賀市松原 1 3 5

東急観光(株)佐賀支店内

農地保全研究部会第 25 回研究集会 受付係（担当：福富）

FAX 0952 29 6005 ☎0952 26 1131

E mail:saga1@tokyu tour.co.jp

(3) 申込期限 平成 16 年 9 月 24 日（金）

## (4) 予約回答

10月上旬代表者あてに、回答書(確認書・請求書、宿泊券などを含む)を郵便でお送りいたします。

## (5) 参加費等の振込み

回答書の到着後、内容をご確認いただき、費用を下記の銀行口座に期限までにお振込みください。

振込み期限 平成16年10月15日(金)

振込口座: 佐賀銀行呉服町支店(普)4034525

口座名義: 東急観光(株)佐賀支店

## (6) 宿泊のご案内

佐賀ワシントンホテル 一泊朝食付 シングル 8,300円

第一栄城ホテル(本館)一泊朝食付 シングル 5,800円

(1泊朝食付, 1人様1泊あたり, 税金・サービス料込み)

## (7) 昼食のご案内: 11月9日の研究会における昼食をご希望により用意いたします。会場および会場周辺のレストラン

にはお席に限りがあります。

(8) 変更・取消の場合は、規定の取消料を申し受けます。

## 6. 問合わせ先

## (1) 農地保全研究会事務局

〒812 8581 福岡市東区箱崎6 10 1

九州大学大学院農学研究院

生産環境科学部門 土壌学研究室

大坪政美 ☎092 642 2920 FAX 092 642 2921

E mail: ohtsubo@bpes.kyushu.u.ac.jp

東 孝寛 ☎092 642 2919

E mail: higashi@bpes.kyushu.u.ac.jp

## (2) 集会幹事 佐賀県県土(けんど)づくり本部農山漁村課

山口武彦 E mail: yamaguchi_takehiko@pref.saga.lg.jp

重富一宏 E mail: shigedomi_kazuhiro@pref.saga.lg.jp

☎0952 25 7124 FAX 0952 25 7284

## 「2004 ため池フォーラム in おかやま」開催について

### テーマ: 「ため池の保全と活用」～ため池は晴れの国の宝物～

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



近年、ため池がもつ本来の機能である農業用水の安定供給の他に、洪水調節・防火用水の確保・生態系の保全・憩いの場としての多面的機能が見直されています。

この貴重なため池の価値を再認識し、地域自らが、このかけがえのないため池の保全と活用に積極的に取り組み、良好な状態で次の世代に継承することを全国に発信するものです。

1. 日 時: 平成16年11月10日(水)～11月11日(木)

2. 会 場: 第1日目大会会場 岡山県岡山市「岡山市民会館」  
第2日目現地研修 黒谷池(岡山市)、酒津配水池(倉敷市)

3. 主 催: 2004 ため池フォーラム in おかやま実行委員会 [岡山県、水土里ネット岡山(岡山県土地改良事業団体連合会)]

4. 共 催: 山陽新聞社

5. 後 援: 農業土木学会他9機関

6. 参加費用: 本会議(1日目)5,000円  
現地研修(2日目)4,000円

7. 参加申込: 各県、水土里ネットに参加申込書を送付していますので、ご利用ください。

8. 問合せ先: 岡山県農林水産部耕地課防災班 舟越, 柳田  
☎086 226 7435(直通)  
水土里ネット岡山調査設計課 中浜, 津下

☎086 225 0921(代表)

## 9. プログラム

第1日目 平成16年11月10日(水)13:00～17:00

岡山市民会館 岡山市丸の内 2 1 1

## (1) ため池フォーラム本会議

基調講演 語り部・かたりすと・キャスター

「都市と農山漁村の共生・対流推進会議」

副代表 平野 啓子

パネルディスカッション

コーディネーター 岡山大学文学部教授 内田 和子

パネリスト

・農林水産省農村振興局防災課長 片桐 正彦

・神代土地改良区(岡山県井原市)理事長 植田 和秀

・総社北分館田んぼの学校 代表者 森 茂

・基調講演者 平野 啓子

2004 ため池フォーラム in おかやま宣言

## (2) 情報展(岡山市民会館)

「岡山のため池写真展」

「岡山県の農業農村整備事業展」

第2日目 平成16年11月11日(木) 8:30～13:30

現地研修 黒谷池(岡山市)・酒津配水池(倉敷市)